

1 活動のねらい

研修や実践で学び得たことを授業に活かす。

2 活動内容

○料理講習会



鷺津チエ子様を講師に招き、エコ・クッキングについて説明していただき、その後、調理実習を行った。ため水で洗う・皮ごと使う、古布で拭くなど、エコ・クッキングの工夫を教えてくださいました。調理実習では、ラタトゥユ・キャロットオレンジ寒天を作りました。「野菜の味を生かした料理だった。子どもたちも野菜のおいしさを感じることができる」「エコ・クッキングは、自分たちも日ごろから心がけたい」という感想がありました。

○指導案検討会



五泉南小学校6年担任、佐藤祐子教諭の「つくろう！さわやか生活」の指導案を検討しました。「ニンヒドリン水溶液を使った実験は、目に見えない汚れが目に見えるようになるため、児童がよごれを意識することができる変有効な手立てである」「導入の新しいTシャツと1日着ていたTシャツの違いのところでいろんな考えが出ると『洗濯をしないでずっと着ているとどうなるでしょう』の問いにも様々な考えがでる」「『可視化・実感・必要性』は、家庭科で大切な視点。これを実際できる手立てになっている」という意見が出されました。

○授業研修

「第6学年『つくろう！さわやかな生活』単元の授業研究」



五泉南小学校の佐藤祐子教諭に授業を公開していただきました。2枚のTシャツをニンヒドリン水溶液につけ、見えない汚れを可視化する実験を行いました。実験前は、2枚のTシャツが見た目には変わらないことを実感し、実験後は、見えなくても汚れていることを実感することができました。見えない汚れを可視化することで、児童は、衣服の手入れの必要性を感じることができました。終末時に、「(実験結果から)あなたはどうしますか」と問うことで、児童は、「汚れが見えなくても洗濯をしたい。衣服を洗濯する大切さが分かった」ということを実感していました。